



「生きる力」を重視した 新学習指導要領が実施されます

全国のどの地域で教育を受けても一定の水準の教育を受けられるようにするため、国が定めた教育カリキュラム編成基準のことを「学習指導要領」と言います。ほぼ10年ごとに改訂されてきており、このたび改訂された新学習指導要領が実施されることとなりました。

瀬戸の小中学校でも新学習指導要領にのった教育カリキュラムの実施などに向けて準備を進めています。

【問い合わせ先】
学校教育課 ☎88・2760

今年度より小学校で、来年度からは中学校で完全実施となる新学習指導要領では、次代を担う子どもたちに、これからの社会において必要となる「生きる力」を身に付けさせていくことを求めています。

市内の小中学校では、子どもたちに「生きる力」を身に付けさせるため、さまざまな教育活動に取り組んでいます。とりわけ、「生きる力」の重要な基盤となる「確かな学力」の育成に力を注いでいます。



古瀬戸小学校5年生の水質調査学習

そのために、子どもたちに身に付けさせたい学力とはどんなものなのか、そうした学力を身に付けさせていくためにはどうすべきなのか、分析や検討を重ねています。そして、その結果を日常の教育活動に反映させるための研修を行ったり、学校間ネットワークを活用したりして、優れた実践や指導方法を各学校で共有し、役立てています。その内容は、学習習慣や生活習慣の定着に向けた取り組みをはじめ、基礎学力定着への取り組みや、思考力・表現力・判断力育成のための取り組みなど、多岐にわたっています。

今後も「確かな学力」、そして「生きる力」の育成を目指し、全市一体となった取り組みを継続していきます。



教員研修



教育情報化研修



5/17 掛川小学校のドロリンピック

毎年、田植えの前に、児童たちが田んぼに並び足で土を踏み、「代かき」を行っていましたが、今年は、楽しみながら代かきを行おうと「ドロリンピック」が企画されました。

児童たちは、田んぼの中で泥まみれになりながら、班対抗そりひき競争や障害物リレー、旗とり競争、ドッジボールなどを楽しみました。

終了後、児童たちは、満面の笑みで「来年もやりたい。」と先生や地域の方に話していました。



5/13 聖カピタニオ女子高校から 花の贈呈

創立48周年を迎えた聖カピタニオ女子高校の生徒たちが市役所を訪問し、日ごろの感謝の気持ちを伝えるため、市長にランの花を贈呈しました。

生徒会会長の栢森まなみさんと書記の福本真子さんは、学校行事などを紹介したチラシを市長に見せ、9月4日(日)に開催される学園祭のPRや修学旅行の思い出を話していました。

5/14 赤津窯の里めぐり

赤津地区の窯元が工房を公開するお祭り「赤津窯の里めぐり」が開催され、親子連れなどでにぎわいました。来訪者は、窯元との会話を楽しみながら、お気に入りの作品を探していました。

参加した窯元は、「朝からお客さんがたくさん来ている。天気も良いから2日間多くの方に来てもらえそう。」と手ごたえを感じていました。

